

おれんじ通信 ①

知って支える認知症



「住み慣れたまちで住み続けたい」という願いは、歳を重ねても、認知症になっても、変わらないものではないでしょうか。今号からこの「おれんじ通信」では、認知症に関することをテーマに、医療・介護・福祉の第一線で活躍する担当者から情報を発信していきます。

認知症の現状

市の統計によると、平成29年3月末現在、本市の人口は約49万3000人、そのうち65歳以上の高齢者は約13万5000人（高齢化率約27%）と、4人に1

人以上の割合です（グラフ参照）。また、要介護

・要支援の認定を受けている方が約3万人いますが、その半数近くの方に認知症の症状（※）がみられます。

※認知症の度合が日常生活に支障をきたすような症状があるが、支援者がいれば自立できる状態の方を含む。

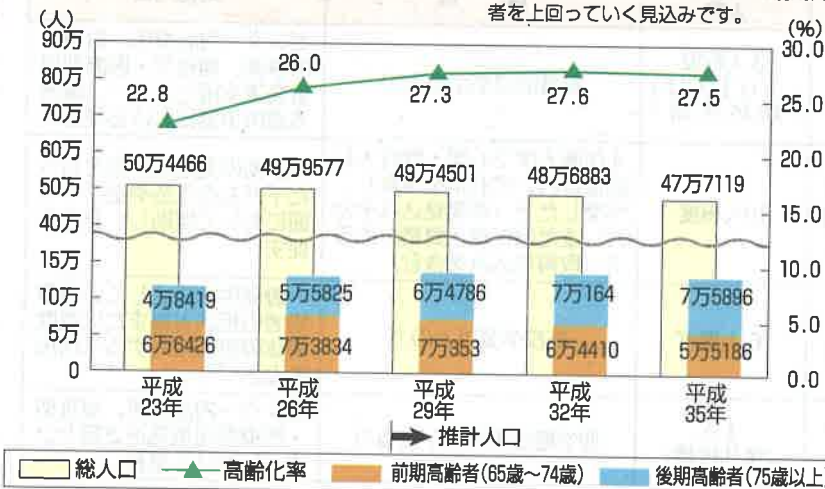
◇ ◇

今回は「疾患の理解①」です。なお、このコーナーへの意見をお待ちしています。

問 地域包括ケア推進課 06(4309)3013、FAX 06(4309)3848

65歳以上の高齢者人口の推移・将来推計

本市の高齢者人口は今後減少傾向に転じる一方、後期高齢者は年々増加し、前期高齢者を上回っていく見込みです。



出典：いきいき長寿TRYぷらんVII